

アダム・スミス『国富論』より 分業と生産性の向上を考える

社会福祉法人 岳寿会

福祉の現場とは

- 生産性の向上とは無縁の業種
- しかし、人材不足から生産性の向上を改めて考える。

福祉の現場を職種毎に分析

- 事務職→職員の入替りによる経理の引継ぎへの課題
- 調理職→高齢化・早出の出来る職員が減少
- 特養介護職→忙しい、やりたいことが出来ない・時間がないが
口癖
- 通所介護職→利用者の減少原因…マンネリ・特徴がない

そこで実践、分業を改めて考える。
今までの失敗から便利になるでは無く
切り離すことができる業務を考える。

- 事務職 → 経理業務ソフトをクラウド化 ※コロナ禍による在宅勤務から
日々の入力業務をアウトソーシング
- 調理職 → 食事提供時間と調理時間の分離 ※機内食から
【ニュークックチルと再加熱カートの導入】

梅香苑 厨房 クックチル導入



そこで実践

- **特養介護**→介護業務から中核業務と周辺業務の分離
周辺業務へ高齢者雇用・障害者雇用の推進
ICT化の推進
- **通所介護**→介護中核業務のDX化に伴う目的の明確化
介護度合いで通所介護事業所を分けサービスの質
を高める。
性別で通所介護利用日を分け新たな
ニーズを掘り起こす。

結果

- 事務職…なんとか決算を乗り切ることに成功、子育て中の短時間正職員の加入。
(今まで会計処理を自前でしてたことに驚き)
- 調理職…食事の作り置きに成功
土日祝日など子育て世代が働けない日でも食事提供可能
もちろん早出業務もなく、定時終了。
平均年齢60.6歳から平均年齢47.0歳へ若返り

結果

- 特養介護職…障害者法定雇用率の3倍達成「もにす認定」
各人の業務を自主的にできる環境整備
 - 見守りセンサーによる見守りの分業
 - 泡シャワーによる洗身の分業
 - 介護記録ソフトによる介護記録の簡素化と情報伝達の一本化
 - 浴室と居室の距離を縮めるお風呂の改装
 - タイムカードの電子化
 - 職員教育の一部アウトソーシング
 - 外国人労働者の増員と戦力化
 - 定時終業

泡シャワー



インカム導入



介護記録ソフト導入



結果

- 通所介護…中重度者専用通所介護施設の設置
中重度者専用通所介護施設の改修
新たな施設で通所リハと高齢者サロンの
隙間を埋める。

Casa昭和町デイサービスセンター

令和6年7月1日 OPEN



まとめ

- 今までの失敗は、生産性の向上は福祉に適合しないのではとの思い込み。福祉の持続可能性を図るためには、効率化は避けては通れない道。
- 分業と利便性の違い、「その道具は、いままでの業務から切り離すことが出来る業務なのか、それとも補助的なものなのか」を考える
- 過疎化が進む地域において、地域的共同の仕組みづくりの必要性が見えてきた。その仕組みづくりに必要不可欠なのが分業であると考える。





今後をこう考える。中期事業計画より

- 通所介護…中経度者専用通所介護施設の設置
- 通所介護…タクシー業界を巻き込んだ送迎
- 通所介護…訪問介護との共同業務
- 居宅支援事業…統廃合、有資格者と無資格者の業務分業
- 特養…定員の見直しと地域的統廃合
- コンパクトシティ…とにかく楽しい街づくり